



平成 19 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 ウエルシア関東株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 鈴木 孝之
(コード番号：2717 東証第二部)
問い合わせ先 取締役財務経理本部長
兼経理部長 佐藤 範正
(TEL 048-662-7711)

ウエルシア関東が「調剤薬局用本部システム」を200店舗へ一斉導入 ウエルシア関東と三洋電機が「調剤薬局用本部システム」を共同開発 1

．概要

ウエルシア関東株式会社（社長 鈴木孝之、以下ウエルシア関東）は、三洋電機株式会社（社長 佐野精一郎、以下三洋電機）製の、チェーン薬局向け本部システム「Ph - Place . net（ファープレイスドットネット）タイプSA」と、保険調剤薬局用コンピュータ「Pharnes（ファーンネス）」を導入しました。ウエルシア関東の調剤併設型のドラッグストア、200店舗に導入し、11月1日より一斉に本格稼働します。

ドラッグストア等のチェーン薬局向け本部システム「Ph - Place . net（ファープレイスドットネット）タイプSA」は、インターネットを活用し、各店舗の売上情報や在庫情報をチェーン店の本部と店舗間で共有管理を行うシステムです。調剤薬局の経営状況の把握、分析や、薬剤在庫の適正管理等を強力にサポートします。また、保険調剤薬局用コンピュータ「Pharnes（ファーンネス）」は、院外処方せんの入力やレセプト請求等を行う、一般的にレセプトコンピュータと呼ばれる機器です。薬局のIT化を推進するさまざまな機能を搭載しており、2011年4月から義務化される（レセコン導入済み薬局は2009年4月から）レセプトオンライン請求にも柔軟に対応することができます。

高齢社会で生活スタイルが多様化する昨今、複数の病院で治療を受ける個人個人の薬剤管理を安心して任せられる“かかりつけ薬局”の存在は、これから非常に大切なものとなります。家の近所にあり、営業時間が長く、調剤の待ち時間に買物もできるドラッグストアは、生活者の頼もしい味方と言っても過言ではありません。

．ウエルシア関東のシステム導入理由

ウエルシア関東は、首都圏を中心に現在267店舗のドラッグストアをチェーン展開しています。特に最近では、調剤薬局併設型の店舗展開を急速に進めており、2011年までに500店舗まで拡げていく予定です。そのためにはネットワークを活用した店舗間の情報共有が必要不可欠なため、三洋電機のチェーン薬局向け本部システム「Ph - Place . net（ファープレイスドットネットタイプSA）」の一部機能を共同開発し、今回の一斉導入に至りました。

【導入理由】

売上管理（売掛け・仕入れ）

月報で報告をしていたが、レセコンに入力をするにより本部での管理ができる。レセコンでの発注はVAN入庫ができていたが、電話発注・店間移動医薬品の入庫もEDIが可能になった。

トレーサビリティ（医薬品管理）

余剰在庫・期限切れ切迫品は現行では店舗で確認して移動・返品を掛けていたが、本部で確認ができ返品・移動指示ができる。

在庫回転日数の向上（調剤専門薬局並）

現行では47日の回転数であるが、店間移動システムを採用し30日を目指す。

薬剤師ヘルプ体制の充実

現行では10時～18時までのヘルプデスク・保守体制であったため業務に支障をきたしていたが、今後は24時までの体制に変更（日曜・祝日）により現行の問題点が解消される。

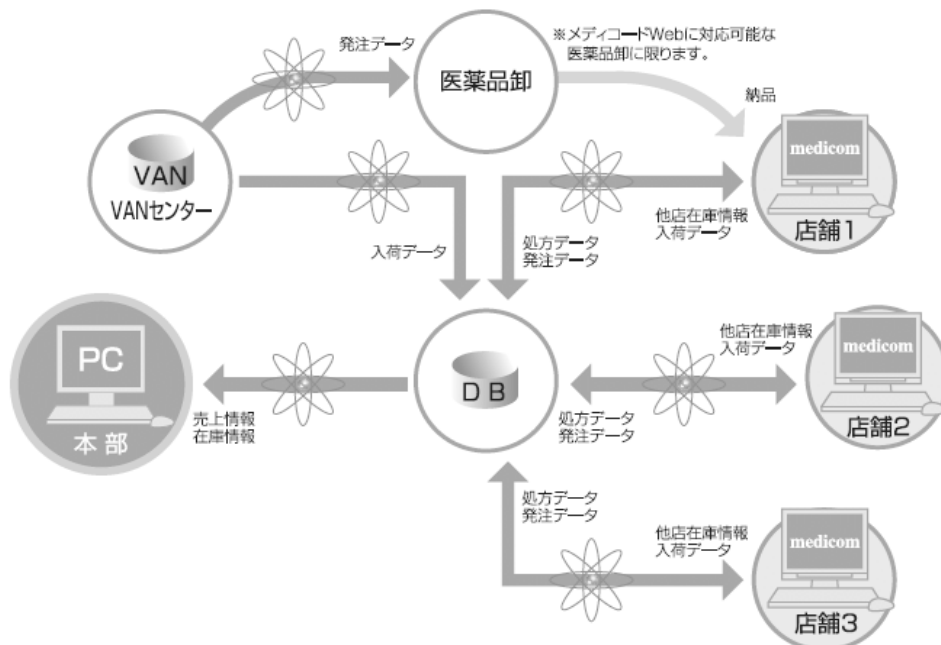
・システムの特長

【チェーン薬局向け本部システム

「Ph-Place.net（ファープレイスドットネット）タイプSA」】

ドラッグストア等のチェーン薬局各店舗の在庫情報や売上情報を、ネットワークを経由して共有・管理することができるシステムです。

1. 発注時に他店舗の余剰在庫を表示し、余分な発注を防止できる「余剰在庫管理」機能
2. 医薬品の店舗間移動をスムーズにする「連絡板（店舗間メール送受信）」機能
3. 伝票のEDI（電子伝票）化により、各店舗での作業を軽減する「医薬品の発注・仕入のVAN²対応」
4. 本部主導で、各店舗の売上情報や在庫情報を把握・分析できる「売上把握、適正在庫支援」機能



【 保険調剤薬局用コンピュータ 「Pharnes（ファーンネス）」 】

院外処方せんの入力やレセプト請求等を行う、レセプトコンピュータです。インターネットを活用したアプリケーション、調剤過誤防止を支援するシステムなど、保険調剤薬局をあらゆる側面からサポートするためのさまざまな機能を搭載しています。

1. 誰でも扱いやすい操作性

簡単メニュー、ガイダンス表示など、処方入力ナビゲーション機能を搭載し、“わかりやすい操作”を目指して設計しました。パソコン操作が苦手な初心者でも扱いやすい操作性に仕上げています。

2. 信頼をサポートする調剤支援機能

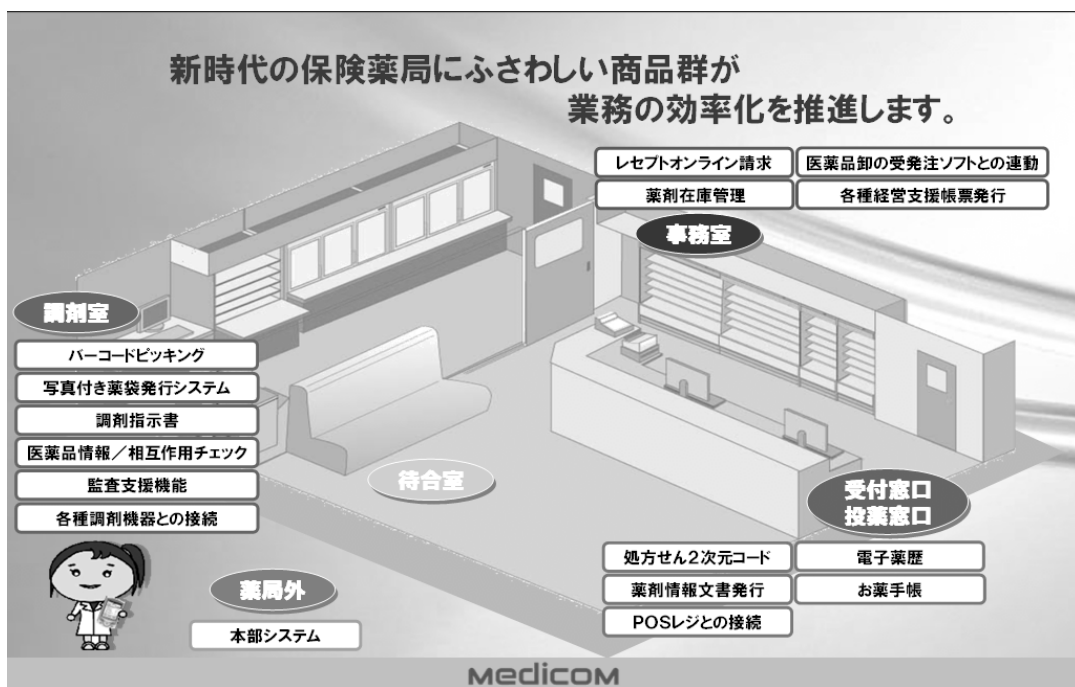
薬剤写真、効能効果、相互作用チェック等の医薬品情報データベースや、ピッキングミス防止支援機能を標準搭載し、リスクマネージメントをサポートします。

3. 生活者の信頼性がアップする「情報提供ツール」

対話型電子薬歴管理システムや薬剤カラー写真付き薬袋発行システムなど、患者志向の情報管理・情報提供ツールを取り揃え、患者とのコミュニケーションや服薬指導の強化をサポートします。

4. レセプトオンライン請求の義務化を考慮して「レセプト電算処理システム」を標準装備

2009年4月より義務化される、レセプトオンライン請求のための必須アイテム「レセプト電算処理システム」を標準搭載しました。集計帳票も豊富に用意されており、経営状況の多面的な把握を支援します。



トピックス

さらに、医療機関と薬局間の情報連携を強力にサポートするオプションソフトとして、後発医薬品情報データベースを有しています。オレンジブック保険薬局版（企画編集：日本薬剤師会）をデータベース化し、後発医薬品情報提供料（10点）の算定に寄与する帳票を簡単に発行することができます。

また、三洋電機は平成19年5月より、新たな試みとして、東大医学部附属病院の「病薬連携に関する共同研究」にも参画しています。この共同研究では、後発医薬品への変更を行った場

合の医療機関への情報提供をオンラインで実現しており、医療機関側の事務作業の軽減を図ることができます。

処方せん2次元コードとともに、医療過誤・調剤過誤の防止を支援する役割を担うシステムとして、大きな注目を集めています。

1 ; 2007年10月30日現在

2 ; 「Value - Added Network」の略。付加価値通信網。

報道関係お問合わせ先

三洋電機株式会社 ブランド本部 商品広報部

TEL : (東京) 03 - 6414 - 8638 (大阪) 06 - 6994 - 3551

ウエルシア関東の店舗に関するお問合わせ先

ウエルシア関東株式会社 学術調剤本部

TEL : 048 - 662 - 7794

導入システムに関するお問合わせ先 及び資料請求先

三洋電機株式会社 メディカル・ヘルスケア事業本部 メディコム事業部 調剤システム部 調剤企画課

TEL : 03 - 5816 - 3373

以上